

愛知県立大学アフリカ研究セミナー  
公開セッション「学生によるアフリカ・フィールドワーク」

2018年5月21日(月) 16:10-17:40  
長久手キャンパス G棟地下 G001 教室

アフリカは遠い大陸であるように思われますが、最近では学生たちもフィールドワークに出かけ、アフリカ現地調査に基づいた卒業論文などに取り組むケースが増えてきました。今回は、東アフリカのタンザニア、西アフリカのセネガルで研究を進めている2人による、写真や映像を含めた報告をもとに、学生によるアフリカ調査の可能性について考えてみたいと思います。

不破隆道（国際関係学科4年）

「タンザニアの農村部における経済のあり方」

星野佐和（国際関係学科卒業生、京都大学大学院在学）

「セネガル・ダカールにおけるスーフィー教団の宗教実践：音と空間に着目して」

コメント：金田青緒衣

（フランス学科卒業生、元在セネガル日本大使館勤務、現愛知県立大学法人職員）

司会・趣旨説明・全体講評：亀井伸孝（国際関係学科教員（アフリカ地域研究））

【おしらせ】

- ・ 月曜5限のゼミ（研究演習）の一環として行われます。かめい／ポープ両ゼミの合同企画です。
- ・ ゼミ外の学生でも、希望する人は聴講できます。席と資料を準備する都合上、事前の参加申込をお願いします。学籍番号、氏名を記入して、メールで申し込んでください。≫ かめい kamei@for.aichi-pu.ac.jp（5/19 土まで）

主催：愛知県立大学国際関係学科かめい研究室

共催：愛知県立大学国際関係学科ポープ研究室

連絡先：上記のメールアドレス